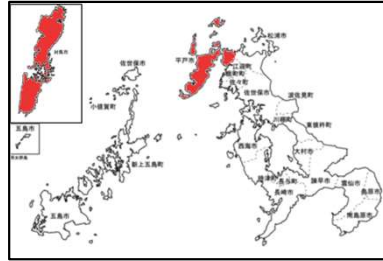


「地方創生整備推進交付金（港整備交付金）」を活用した地域再生計画 （長崎県対馬市及び平戸市の区域の一部）

「対馬赤ムツ漁水場・給餌連携計画」

作成主体	長崎県、対馬市
区域	長崎県対馬市及び平戸市の区域の一部 (比田勝港、佐須奈港、鹿見港、小茂田港、厳原港、田平港、久根浜漁港、小鹿漁港、鴨居瀬漁港、越高漁港)
計画期間	R2～R8年度



◆背景

○対馬地域は特定有人国境離島地域にあり、地域社会の維持を図ることが緊急の課題となっている中、令和元年7月以降、韓国人観光客が激減し、観光業は厳しい状況にある。このような中、対馬の経済を支える基幹産業である水産業による地域経済の活性化が求められるが、漁業者の担い手不足や高齢化進行のほか、港湾漁港施設の機能低下による出量機械の減少が課題となっている。平戸地域においても、対馬地域と同様、高齢化する漁業者の就労環境の改善や安全性の確保が課題となっている。

◆目標

比田勝港、佐須奈港、鹿見港、小茂田港、厳原港、久根浜漁港、小鹿漁港、鴨居瀬漁港、越高漁港において、赤ムツ漁の生産基地の陸揚げ・準備等における高齢者の作業軽労化や効率化並びに就労環境の改善・安全性の向上を図る施設を総合的に整備し、田平港では、赤ムツの餌となるサバの安定供給を図るため、陸揚げ作業の効率化・安全性向上を図る施設整備をおこない、対馬地域での赤ムツの漁獲量の増加及び漁業者の所得向上を通じた水産業の振興を図る。

【数値目標】

- ・対馬地区の漁業所得の向上 4,924千円(H30)→5,416千円(R8)
- ・対馬赤ムツ漁獲金額の向上 305百万円(H30)→366百万円(R8)
- ・田平地区の漁業所得の向上 5,842千円(H30)→6,400千円(R8)



赤ムツの水揚状況



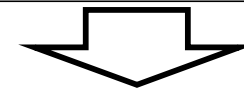
赤ムツの荷捌き・箱詰状況



対馬の赤ムツ
(対馬から福岡・関西・関東へ出荷)



漁協による対馬「赤ムツ」ブランド化



◆取組

- 港湾施設及び漁港施設の整備
 - 港湾施設 外角施設、係留施設、臨港交通施設
 - 漁港施設 係留施設

【地方創生整備推進交付金（港整備交付金）（内閣府）】
総事業費 2,965,000千円（うち交付金 1,663,300千円）